令和6年度 事業報告書
特定非営利活動法人 第 3 の家族

事業の成果

（1）特定非営利活動に係る事業：家庭環境の問題により、支援が必要な少年少女への支援事業

【Web 事業】

●<u>Web サービスの利用実績</u>
月間アクティブユーザー約 5,000 人、年間のベクティブユーザー30,000 人。
全体投稿数 10 万件達成。

●<u>Web サービスの新機能開発</u>
NG ワードや生成 AI による投稿の文脈判定により、支援情報の提示と、コミュニティの治安維持を行なった。また、悩みのカテゴリーを追加し（学校・LGBT・メンタルヘルスなど）、子ども若者が抱える複合的な悩みに対応できるようになった。

●<u>LINE ヤフー株式会社とのプロボノ連携</u>
LINE ヤフー株式会社とプロボノ連携を行い、開発やサービス企画をサポートしてもらった。

●<u>過去のユーザーのボランティアへの参加</u>
かつて団体のサービスやイベントを使っていた若者たちが、活動のボランティアに参加している。当事者の目線を生かした知見提供や、イベントの手伝いをしてもらった。

【イベント事業】

●<u>エンパワメントを行うオンライン・オフラインイベント</u>
5 月に裏母の日と音楽ライブ、12 月に NHK ハートネット「家しんどい」（制作協力・出演協力）とメタバースイベント、3 月に地域オフ会を開催。YouTube チャンネルを再開。インターネットを超えたつながりを生み出し、イベントを通じて「生きていこう」というメッセージを子ども若者に送る。

（2）特定非営利活動に係る事業：家庭環境問題にまつわる調査事業

【調査事業】

●<u>心理的虐待に関する研究</u>
gedokun の投稿データをもとに、分析ツールを用いて心理的虐待の類型化を試みた。

（3）その他の事業：家庭環境の問題により、支援が必要な少年少女への支援事業

●<u>横浜市立大学の若者研究への参加</u>
横浜市立大学が行う、生きづらさを抱える若者研究に参加し、知見提供や企画への協力を行なった。